

第3章

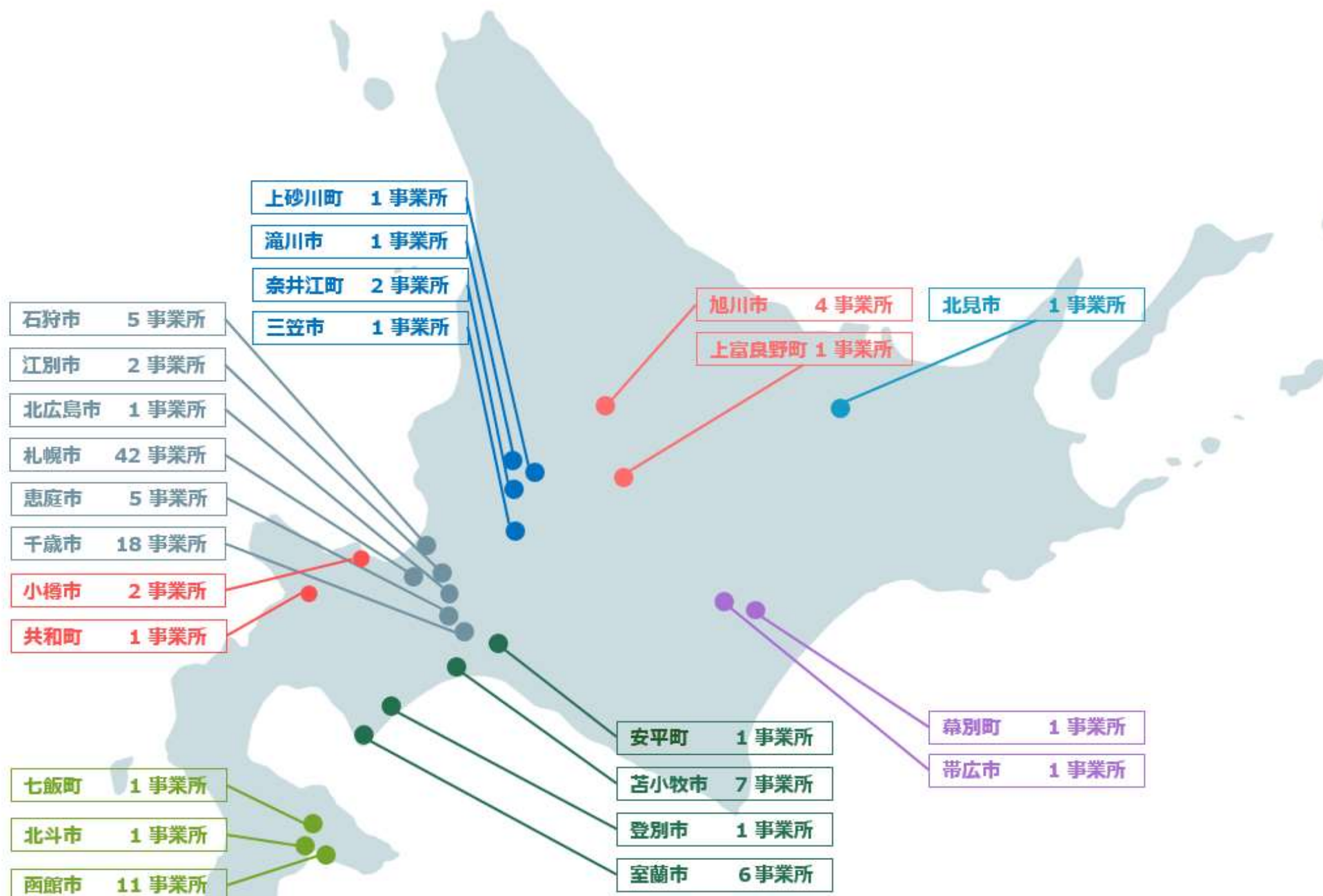
本道の現状

第3章 1 半導体関連産業に関する本道の現状

1-1 半導体関連産業の現状①（道内の集積状況）

- 本道には、道央や道南地域を中心に、半導体製造や設計・開発、半導体製造装置・生産設備関連、電子デバイス関連の企業が立地しています（立地件数：117件※(2024年3月現在)）。

※北海道半導体人材育成等推進協議会調



出典)北海道半導体人材育成等推進協議会「北海道半導体・電子デバイス企業サプライチェーンマップ」(令和6年(2024年)3月)

第3章 1 半導体関連産業に関する本道の現状

1-1 半導体関連産業の現状②（道内の集積状況）

道内の半導体関連企業一覧（2024年3月現在）

【札幌市】

	企業名	事業内容
1	(株)アウトソーシング	人材派遣
2	(株)ASCe	自動機械の開発設計・製作
3	(株)アットマークテクノ	CPUボードやIoTゲートウェイの開発・製造・販売
4	アルコニックス・三高(株)札幌支店	半導体材料・製造装置の部材及び表面処理
5	(株)アルプス技研	人材派遣
6	(株)池田熱処理工業	金属部品の熱処理加工及び機械加工
7	エア・ウォーター(株)札幌事業所	産業ガス製造・販売
8	エア・ウォーター北海道・産業ガス(株)	特殊ガス配管設備工事、検査メンテナンス他
9	(株)エイジエック	人材派遣
10	(株)エクスプローラ札幌デザインセンター	LSI設計、各種産業機器、IoTデバイスの設計・開発・製造
11	大熊ダイヤモンドデバイス(株)	ダイヤモンド半導体の研究開発
12	(有)川尻工業	化学薬品・ガス・真空デバイス
13	(株)京進機工	半導体装置部品加工(機械部品)
14	(株)クワイアン	半導体の生産ラインの改善業務
15	札幌エレクトロプレATING工業(株)	精密機械製作、各種メッキ加工
16	(株)サンケミ	特殊ガス配管設備工事、産業ガス販売
17	清水勸業(株)	電子回路、基板製造
18	新光商事LSIデザインセンター(株)	LSI設計
19	太宝電子(株)	電子機器の設計製造
20	大陽日酸北海道(株)	産業ガス製造・販売、特殊ガス配管設備工事
21	(株)中央ネームプレート製作所	板金加工・プリント配線板
22	(株)調和技研	画像・言語・数理系AI研究開発、AI人材の育成事業
23	(株)DNPエル・エス・アイ・デザイン札幌デザインセンター	LSI設計
24	DMG MORI Digital(株)	コンピュータシステム、ハードウェア、ソフトウェア
25	(株)ディ・ビー・シー・システム研究所	耐酸化コーティングの研究開発
26	東京エレクトロン(株) TEL デジタル デザイン スクエア	ソフトウェア開発・AIによるデータ解析
27	(株)トータルデザインサービス	LSI設計
28	(株)トーテック札幌事業所	半導体生産設備の設計・製作
29	(株)トッパン・テクニカル・デザインセンター北海道デザインセンター	LSI設計
30	(株)トリパス清田工場	板金加工
31	トレックス・セミコンダクター(株)札幌技術センター	半導体デバイスの開発、設計、製造
32	日研トータルソーシング(株)	人材派遣
33	日総工産(株)	人材派遣
34	日本ガイシ(株)札幌営業所	各種産業用セラミック製品等
35	(株)燃焼合成	セラミックス粉末製造・販売
36	(株)ハイブリッジ	研究開発用真空装置、半導体製造装置の設計・製造
37	(株)八神エモーション	電気電子部品の加工・組み立て・検査、人材派遣
38	北海ケミー(株)	電子工業用薬品
39	北海道アオキ化学(株)（親会社：松田産業(株)）	リサイクル事業
40	北海道電子機器(株)	電子機器開発
41	メイビスデザイン(株)札幌設計オフィス	LSI設計
42	(株)モダン化成	プラスチックシート成型加工販売・包装資材販売

【江別市】

	企業名	事業内容
1	(有)エムテック	モーター制御装置等の開発
2	電制コムテック(株)	各種監視制御システム、 蛍光検出型非接触式油検出センサー

【千歳市】

	企業名	事業内容
1	アルバックテクノ(株)北海道CSセンター	真空機器・装置メンテナンス
2	(株)アルファテック千歳事業所兼設計開発本部	半導体製造機器及び部品の設計・製造
3	エア・ウォーター(株)千歳工場	産業ガス製造・販売
4	エヌ・ティ(株)千歳営業所	半導体製造設備メンテナンス
5	(株)FJコンポジット	各種複合材料の開発・製造・販売
6	(株)SUMCO千歳工場	半導体シリコンウェーハ製造
7	セイコーエプソン(株)千歳工場	TFT液晶パネル製造
8	(株)大成工業北海道千歳工場	半導体関連真空ポンプ修理
9	多治見無線電機(株)千歳工場	コネクタ設計・製造・販売
10	(株)デンソー北海道	車載用センサ製造
11	日本電波工業(株)千歳テクニカルセンター	センシング装置開発
12	パナソニックインダストリー(株)デバイスソリューション事業部千歳	積層デバイス
13	北海ケミー(株)千歳倉庫	電子工業用薬品
14	(株)北海道シーアイシー研究所	【クリーンルーム・クラス5プラント（ISO）】 クリーンルーム内で使用する「ウエア類」、「特殊部品」（治具類、FOUP、ウエハキャリアBOX類）の精密洗浄
15	北海道日興電気通信(株)	電子機器の受託生産サービス
16	ミツミ電機(株)	アナログ半導体、パワー半導体製造
17	UTコネク(株)千歳オフィス	労働者派遣
18	Rapidus(株)	ロジック半導体製造

【恵庭市】

	企業名	事業内容
1	(株)京都セミコンダクター恵庭事業所	光通信デバイス製造
2	(株)中川製作所	セラミック電子部品の製造、金型
3	北新金属工業(株)	サーミスタ、各種温度センサー
4	メテック(株)北海工場	めっき加工
5	ユニマイクロジャパン(株)	プリント配線基板製造

【北広島市】

	企業名	事業内容
1	(株)ワールド山内	産業部品製造

【石狩市】

	企業名	事業内容
1	シンセメック(株)	専用機械製作、精密機械部品加工
2	(株)中央ネームプレート製作所石狩工場	板金加工・プリント配線板
3	(株)トリパス	板金加工
4	早来工営(株)札幌工場	廃棄物処理
5	(株)ミクロ札幌	精密部品の製造

出典) 北海道半導体人材育成等推進協議会「北海道半導体・電子デバイス企業サプライチェーンマップ」
(令和6年(2024年)3月)

第3章 1 半導体関連産業に関する本道の現状

1-1 半導体関連産業の現状③（道内の集積状況）

道内の半導体関連企業一覧（2024年3月現在）

【小樽市】

	企業名	事業内容
1	(株)木村精機製作所	産業機械の装置部品の製作
2	(株)山本エンジニアリング	精密機械部品製造・組立・販売

【共和町】

	企業名	事業内容
1	住鋳国富電子(株)	SAWフィルター用ウエハ製造・希土類磁石材料の製造

【滝川市】

	企業名	事業内容
1	栃木精密(株)北海道工場	精密金型部品加工

【三笠市】

	企業名	事業内容
1	北海道オリジン(株)	ダイオード、ペアリング

【奈井江町】

	企業名	事業内容
1	(株)太田精器	精密機械部品加工製造
2	釜屋電機(株)奈井江工場/北海道研究所	抵抗器製造

【上砂川町】

	企業名	事業内容
1	(株)京都セミコンダクター上砂川事業所	光通信用デバイス製造

【苫小牧市】

	企業名	事業内容
1	JX金属苫小牧ケミカル(株)	産業廃棄物処理、資源リサイクル
2	ジェイテクトセールス(株)苫小牧営業所	産業用機械・部品販売
3	大陽日酸北海道(株)苫小牧事業所・苫小牧工場	産業ガス製造・販売、特殊ガス配管設備工事
4	(株)中予精工北海道工場	超精密金型製作
5	日軽パネルシステム(株)苫小牧工場	クリーンルーム用ノンフロン断熱パネル製造
6	北星樹脂工業(株)	樹脂配管・ダクト施工、樹脂（PVC他）加工
7	ホクセイプロダクツ(株)苫小牧営業所	高純度アルミニウム、シリコンウエハ用包装用防湿アルミ袋

【室蘭市】

	企業名	事業内容
1	(有)アルフ	半導体生産設備部品・治工具製作
2	(株)エヌイーティ	精密金型パーツ及び金型製作
3	(株)キメラ	超精密金型、超精密加工
4	(株)永澤機械	産業機械部品
5	(株)西野製作所	金属機械部品製造・修理
6	ファクター(株)室蘭工場	コネクタアッセンブリー

【登別市】

	企業名	事業内容
1	(株)カムイ電子	プリント基板実装

【安平町】

	企業名	事業内容
1	早来工営(株)早来支店	廃棄物処理

【函館市】

	企業名	事業内容
1	(株)AIハヤブサ	AI画像解析・検査システム
2	(株)エクспローラ	LSI設計、各種産業機器、IoTデバイスの設計・開発・製造
3	(株)セコニック電子函館事業所	無機EL製造
4	タカノ(株)函館事業所	外観検査装置の設計・製造・販売
5	東亜電器(株)函館工場	産業用温度センサー設計・製造
6	(株)トータルデザインサービス函館オフィス	LSI設計
7	函館酸素(株)	産業ガス製造・販売
8	函館電子(株)	半導体後工程の組立加工
9	マイ・コント・ハウス函館	半導体検査装置、各種治具の設計・製造、各種省力化システム設計
10	(株)ミラック光学函館工房	光学関連機器の設計・製造
11	(株)メテック	半導体製造装置、精密部品加工

【北斗市】

	企業名	事業内容
1	(株)菅製作所	半導体製造装置・研究用装置製造

【七飯町】

	企業名	事業内容
1	(株)アムコー・テクノロジー・ジャパン函館工場	各種半導体製品のパッケージング

【旭川市】

	企業名	事業内容
1	大陽日酸北海道(株)旭川事業所・旭川工場	産業ガス製造・販売、特殊ガス配管設備工事
2	中央精工(株)	精密機械加工
3	東芝ホクト電子(株)	フレキシブルプリント配線板製造、工業用マグネトロン
4	北海ケミー(株)旭川営業所	電子工業用薬品

【上富良野町】

	企業名	事業内容
1	ニテックSVプローブ電子(株)	プローブカード製造

【帯広市】

	企業名	事業内容
1	パナソニックスイッチングテクノロジーズ(株)	車載リレー製造

【幕別町】

	企業名	事業内容
1	十勝葉山電器(株)	車載用リレー製造

【北見市】

	企業名	事業内容
1	ニックス(株)北海道工場	電子機器部品の成型

出典) 北海道半導体人材育成等推進協議会「北海道半導体・電子デバイス企業サプライチェーンマップ」
(令和6年(2024年)3月)

第3章 1 半導体関連産業に関する本道の現状

1-1 半導体関連産業の現状④ (道央地域の主な半導体関連企業)

ミツミ電機(株)千歳事業所[千歳市]

設立:1983年(2017年ミネベアミツミグループへ)

代表者: 取締役常務執行役員 半導体事業部長 兼 千歳事業所長 矢野 功次

事業内容:半導体の開発、設計及び製造(前工程)

従業員数:645人(派遣等含む)※2024年1月現在

- 千歳事業所は、ミネベアミツミグループ国内最大の半導体工場であり、北海道で唯一の半導体前工程の工場として、パワー半導体やアナログ半導体などを生産。
- 同社が生産するリチウムイオン電池の保護用ICは、スマートフォンなどの過充電や過放電を防ぎ、安全に使用するためにはなくてはならない製品のひとつで、ミネベアミツミグループで生産する同製品の世界シェアは約80%を誇る主力製品となっている。
- 半導体前工程工場としては、国内初となる生産活動への再生可能エネルギーの活用を推進。道内の5拠点に大規模太陽光発電システムを設置し、発電された電力を自己託送によって活用。温室効果ガス排出量削減効果を見込む。



大熊ダイヤモンドデバイス(株)[札幌市]

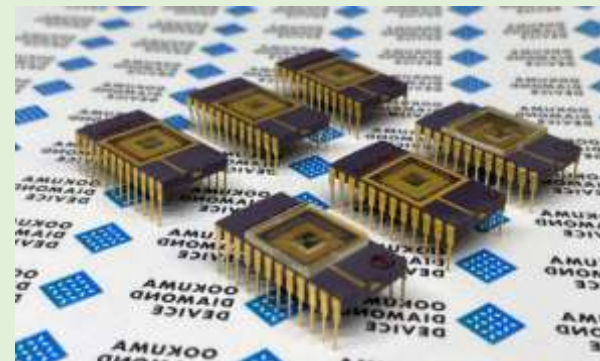
設立:2022年

代表者:代表取締役 星川 尚久

事業内容:ダイヤモンド半導体の研究開発

従業員数:19人※2024年1月現在

- 北海道大学と産業技術総合研究所を基とするスタートアップ。ダイヤモンド半導体を用いた電気信号を増幅する回路の2024年度の製品化、2026年度の量産化を計画。本製品は、原子炉の廃炉や衛星通信の高解像度化の実現などでの活用が期待されている。
- 同社が研究開発を行うダイヤモンド半導体は、高温環境・高放射線環境下において優れた耐性を有し、シリコン等に代わる「究極の半導体」とも呼ばれる。
- 原発や宇宙、次世代通信基地局等に係る研究開発を進め、世界初となるダイヤモンド半導体の社会実装を目指す。



第3章 1 半導体関連産業に関する本道の現状

1-1 半導体関連産業の現状⑤ (道南地域の主な半導体関連企業)

(株)メデック[函館市]

設立:1989年

代表者:代表取締役 漆寄 照政

事業内容:半導体製造装置等の設計・製作・販売

従業員数:180人(グループ全体272名)※2024年1月現在

- ・ 函館を拠点に「各種自動機設計製作」、「精密加工部品製作」、「機械器具販売」を展開する複合エンジニアリング会社。半導体のみならず、自動車、食品業界にもロボットシステムを含め展開。
- ・ 半導体等の電子部品、自動車部品など様々な工場で用いられる自動機を設計・製造し、大手メーカーに納入。中でも、半導体の温度・電圧試験工程の自動化・高速化を他社に先駆けて確立・開発した「IC挿抜機」は、国内最速機として国内トップクラスのシェアを有する。
- ・ 漆寄代表取締役は、函館高専地域連携協力会を設立し、初代会長を務め、高専生を対象とする地元企業説明会を開催するなど、雇用創出・人材育成に貢献。



(株)アムコー・テクノロジー・ジャパンJ7函館工場[七飯町]

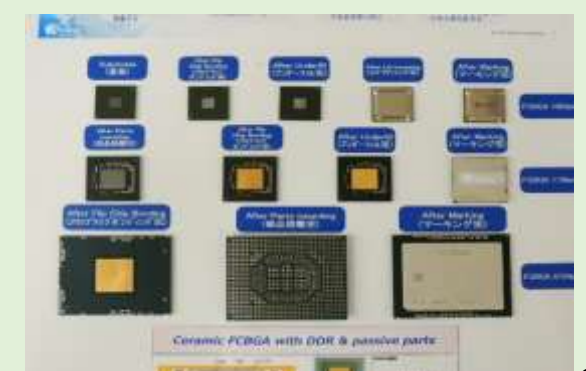
設立:1974年(2020年社名変更)

代表者:生産統括本部 函館工場 工場長 北山 英樹

事業内容:半導体製造(後工程)

従業員数:524人※2024年1月現在

- ・ 同社は、半導体製造の後工程に特化、業界を牽引するリーディングカンパニーであるとともに、車載分野では世界のトップシェアを誇る。
- ・ 函館工場では、半導体チップを切り出して、パッケージングとテストを実施。
- ・ 函館工場のエンドマーケットは、自動車&産業41%、コンシューマー（ウェアラブル端末等一般消費者向け商品）36%、通信12%、コンピューティング11%となっており、近年では、先進運転システムや完全自動運転への移行によって自動車関連が伸びている。
- ・ 半導体チップは3mmから最大55mm以上まで対応できるのが函館工場の強み。

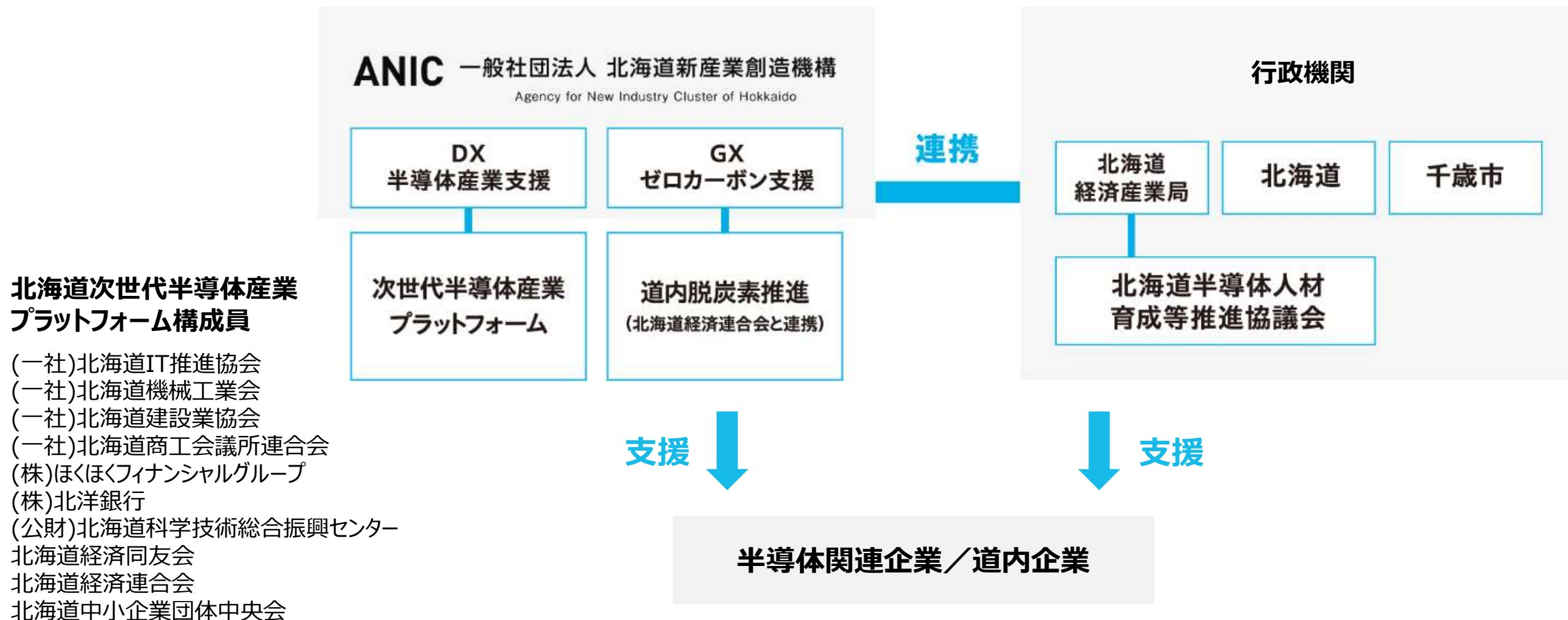


第3章 1 半導体関連産業に関する本道の現状

1-1 半導体関連産業の現状⑥ ((一社)北海道新産業創造機構)

- 2023年7月6日、北海道経済連合会が、半導体関連企業の立地等に関する一元的な相談窓口の役割を担う法人として、(一社)北海道新産業創造機構 (ANIC (エイニック)) を設立しました。
- ANICが事務局を務める「北海道次世代半導体産業プラットフォーム」では、構成員である経済団体・業界団体・金融機関のネットワークを活用して、半導体関連企業の立地や道内企業の参入促進などを支援しています。

ANICの推進体制



※2023年10月1日現在

第3章 1 半導体関連産業に関する本道の現状

1-2 半導体関連人材の現状①（道内理工系大学・高専生の就職状況）

- 理工系の13大学及び4高専の卒業生のうち約6割、また、9大学院の修了者のうち8割以上が道外で就職しています。

道内理工系大学院・大学・高専卒業生及び修了者の道内就職者数（道内就職率）

	2019年 3月卒	2020年 3月卒	2021年 3月卒	2022年 3月卒	2023年 3月卒
大学（13校）	1,345名 (41%)	1,199名 (39%)	1,223名 (42%)	1,228名 (41%)	1,289名 (41%)
高専（4校）	115名 (25%)	140名 (33%)	131名 (37%)	120名 (31%)	149名 (34%)
大学＋高専	1,460名 (39%)	1,339名 (38%)	1,354名 (41%)	1,348名 (40%)	1,438名 (40%)
大学院（9校）	270名 (16%)	310名 (17%)	296名 (17%)	244名 (14%)	308名 (18%)

※ 理工系学部のうち、医学、歯科学、薬学などの医療系の分野を除いた理工系学部及び情報系の学部の新卒者

出典)道総合政策部及び経済部調

第3章 1 半導体関連産業に関する本道の現状

1-2 半導体関連人材の現状②（北海道半導体人材育成等推進協議会）

- 北海道経済産業局は、2023年6月に、今後の道内半導体関連産業の活性化に向けて、「北海道半導体人材育成等推進協議会」を設置しました。道も本協議会に参画しています。
- 協議会では、「半導体人材の育成と確保」及び「半導体関連産業の取引活性化」をテーマに推進策を検討しています。人材育成・確保に関しては、道内立地企業等へのヒアリングを元に、2030年度までに道内半導体・電子デバイス関連企業への就職者数を2023年度の220人から約3倍の630人とするため、産学官連携の取組を促進することとしています。

主な取組

- ①人材育成・確保のロードマップ作成
道内における半導体・電子デバイス産業の人材ニーズと教育カリキュラムの適合性確認・可視化・調整を実施。
- ②産業界と教育界を繋ぐアクションの実行
産業界と教育界を繋ぐ各種アクションをニーズの高いものから順次実施（実務家教員派遣、出前講座、半導体工場見学（学生・教員）、インターンシップの強化など。

人材育成・確保の方針

道内半導体・電子デバイス関連企業の採用状況や、現在の道内理工系学生（構成機関）の動向を踏まえ、2030年度までに、道内の半導体・電子デバイス関連企業への就職者数を現状に比して年間約400人増（約3倍）とするために、本協議会（産学官連携）で、人材育成、人材確保策の拡充を図る。

【道内半導体・電子デバイス関連企業の採用状況】

- ・2023年度採用実績 220人（新卒、中途）
 - ・2030年度採用希望数630人（同上）
- 現状より年間約400人の追加人材需要が見込まれる

【現在の道内理工系学生（構成機関）の動向】

道内理工系学科の入学定員数は約5,800人。うち、進学等を除く就職者数は約3,300人。

出典)経済産業省北海道経済産業局
「北海道半導体人材育成等推進協議会 第3回本会議資料」

第3章 1 半導体関連産業に関する本道の現状

1-2 半導体関連人材の現状③（北海道大学の取組）

- 2023年6月、北海道大学は、次世代半導体の量産技術の実現に向けた国の研究開発拠点であるLSTCに参画しました。
- 2023年10月には、産学官のハブとして国・地域・産業界の課題解決に貢献するとともに、学内における半導体関連研究・人材育成の推進を図るため、「半導体拠点形成推進本部」を設置しました。

LSTCの参画機関

組合員（企業）

- ラピダス社

組合員（研究機関）

- 国立研究開発法人物質・材料研究機構
- 国立研究開発法人産業技術総合研究所
- 国立研究開発法人理化学研究所

準組合員（大学・研究機関）

- 北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、大阪大学、広島大学、九州大学
- 大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構



第3章 1 半導体関連産業に関する本道の現状

1-2 半導体関連人材の現状④（道内4高専の取組）

- 2024年1月1日、道内4高専は、半導体分野の競争力向上に資することを目的に「北海道地区4高専半導体人材育成連携推進室」を設置しました。
- 連携推進室では、半導体人材育成に係る情報共有や関係機関との連携、戦略的な方針の策定などを行うこととしています。

北海道地区4高専半導体人材育成連携推進室

道内4高専が連携した活動を開始！！

育成する人材像

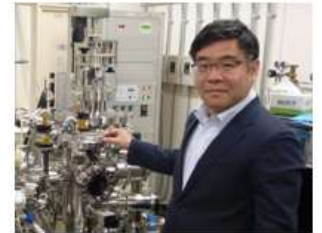
- ①半導体を創る**
ニーズに応じた半導体を設計・製造できる人材
- ②半導体を使う**
ニーズに沿って半導体を活用し新しい価値を生み出すことを通じて社会を発展させることができる人材
- ③半導体で広げる**
半導体関連のエコシステム形成を通じて地域・日本を発展させることができる人材



主な実施事項

- カリキュラムマネジメント**
・社会の発展がわかる
自分ごとにする
共通科目、創造科目
- 北海道半導体概論**
1-3年対象（建設系も）
令和6年4月から
- 半導体工学概論**
4-5年対象
受講できる仕組み構築
- 他機関との連携**
編入学・大学院進学，共同研究などを通しての連携，関連企業への就職・国内外インターンシップなど

室長
旭川高専 篁耕司



副室長
釧路高専 山田昌尚
旭川高専 松原英一

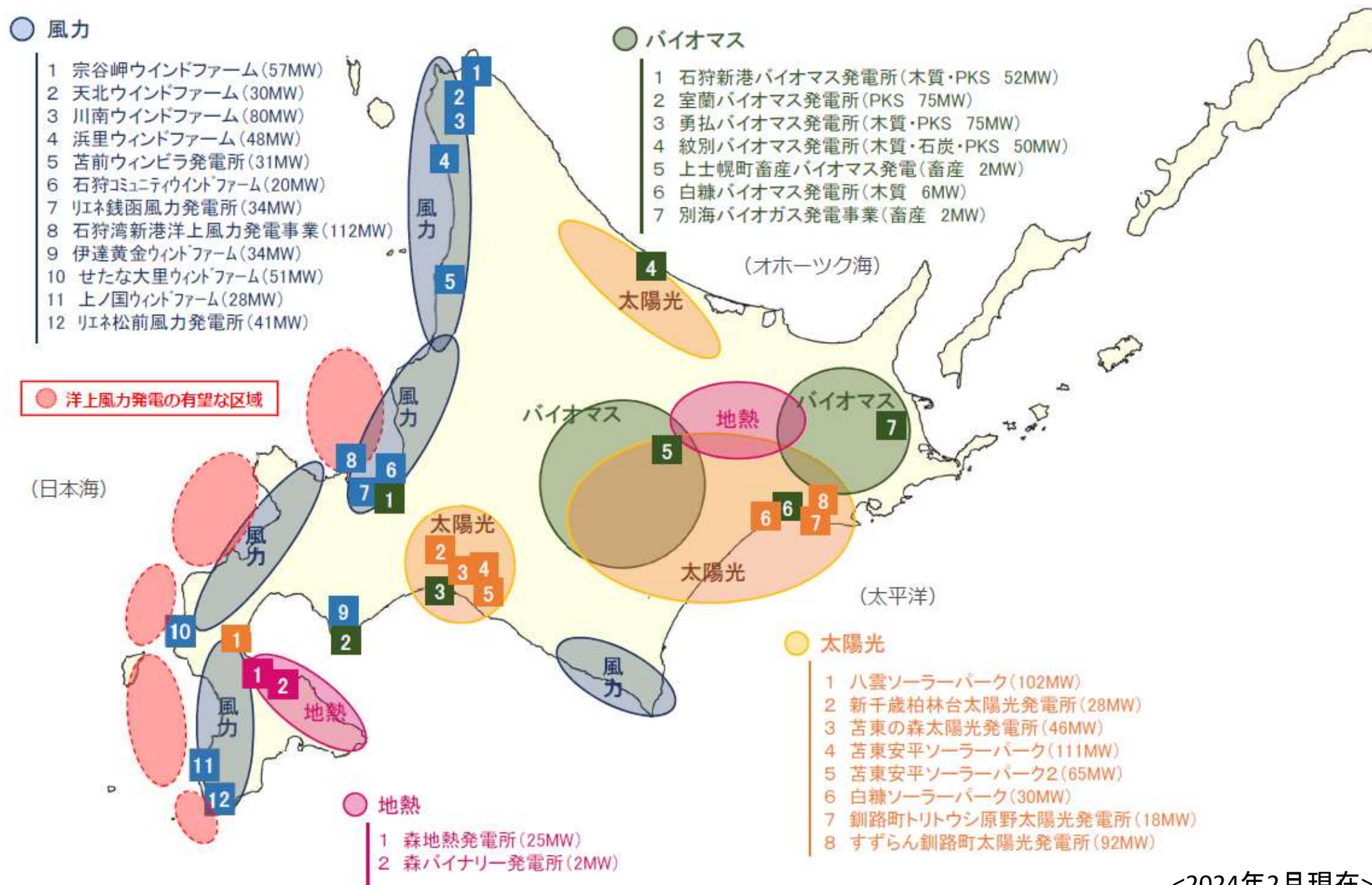


北海道地区4高専半導体人材育成連携推進室を中心に展開

第3章 2 デジタル関連産業に関する本道の現状

2-1 再生可能エネルギーのポテンシャル

- 本道は、風力発電、中小水力発電、太陽光発電の再生可能エネルギーのポテンシャルが、全国随一です。
- 国は、洋上風力を2040年までに最大4,500万キロワット導入することを目指しており、北海道は、その約3分の1を担うことが想定されています。



<2024年2月現在>

第3章 2 デジタル関連産業に関する本道の現状

2-2 データセンターの立地状況

- 道内には44カ所のデータセンターが立地しています（道調べ。2024年2月末時点）。
- 最近では、再エネを活用するデータセンターや生成AI開発など高度処理計算用のデータセンターが立地しています。
- 2023年5月、国は、「デジタルインフラ（DC等）整備に関する有識者会合の中間とりまとめ2.0」において、北海道を東京圏・大阪圏を補完・代替するデジタルインフラの中核拠点に位置づけています。

さくらインターネット（石狩市）
2023年6月、経産省補助金を活用し、生成AI開発用のクラウド基盤の整備を発表

石狩再エネデータセンター第1号（石狩市）
2022年6月、総務省補助金に採択。再エネ100%のデータセンター

ソフトバンク・IDCフロンティア（苫小牧市）
再エネ100%利用の300MWを超える日本最大級のAIデータセンター

ホワイトデータセンター（美唄市）
雪氷冷熱を活用したデータセンター。データセンター排熱を養殖等に利用

アルゴグラフィックス（北見市）
冷涼な外気を活用した、高度処理計算用のデータセンター

旭川市、北見市、美唄市、岩見沢市、札幌市、帯広市、苫小牧市、函館市

第3章 2 デジタル関連産業に関する本道の現状

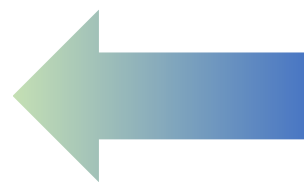
2-3 AIデータセンターでの次世代半導体の活用

- さくらインターネットやソフトバンクは、AI・デジタル社会の実現や経済安全保障などの観点から、国の補助金を活用し、生成AI開発用の高度計算処理能力（スーパーコンピュータ）を有するデータセンターを整備しています。
- AIの計算処理のためには、AI半導体（NVIDIAのGPU(画像処理半導体)など）が必要です。
- 今後、AI半導体の省エネ・高機能化に向け、2nm以下の次世代半導体の活用が加速していきます。

AI共存社会



AIの社会実装を支える
デジタルインフラ



AIデータセンター（計算基盤）



出典：NVIDIA website

次世代半導体の活用加速



- ✓ AIは、大量に電力を消費するとともに、高度な計算処理が必要。
- ✓ AI半導体の省エネや高機能化のため、2nm以下の次世代半導体の活用は不可欠。

第3章 2 デジタル関連産業に関する本道の現状

2-4 デジタル関連産業の集積に向けた推進方向①

- 道は、2023年7月、北海道の優位性を最大限活用しつつ、データセンターや次世代半導体等を核としたデジタル関連産業の一大拠点を本道に形成し、道内経済の活性化と我が国の経済安全保障に貢献することを目的に、「デジタル関連産業の集積に向けた推進方向」を取りまとめました。
- デジタルインフラを成長基盤としてデジタル関連産業の集積を加速し、全道に展開します。

本道のデジタル関連産業の集積と全道への展開



第3章 2 デジタル関連産業に関する本道の現状

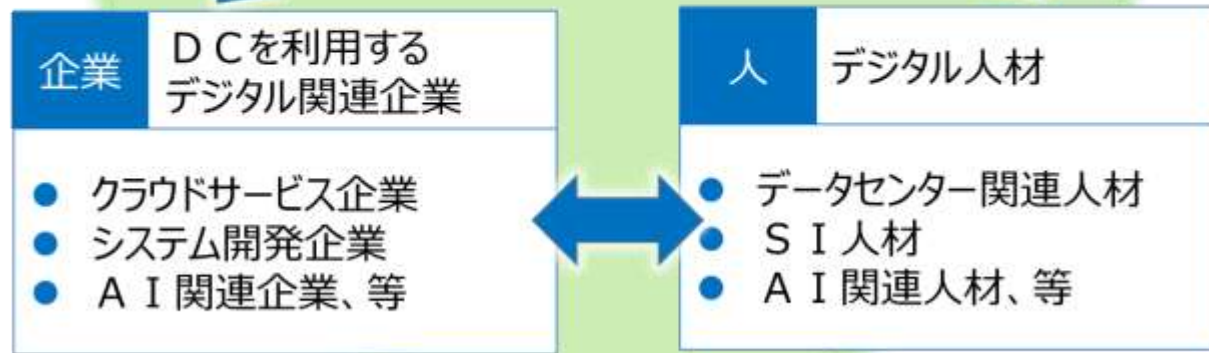
2-4 デジタル関連産業の集積に向けた推進方向②

- 再エネを活用したゼロカーボンのデータセンター、これらを利用するデジタル関連企業、さらにはデジタル関連人材の誘致・集積を図る「北海道データセンターパーク」の取組を推進するとともに、北極海通信ケーブルの陸揚げの誘致に取り組み、アジアでのデジタル・通信ハブを目指しています。

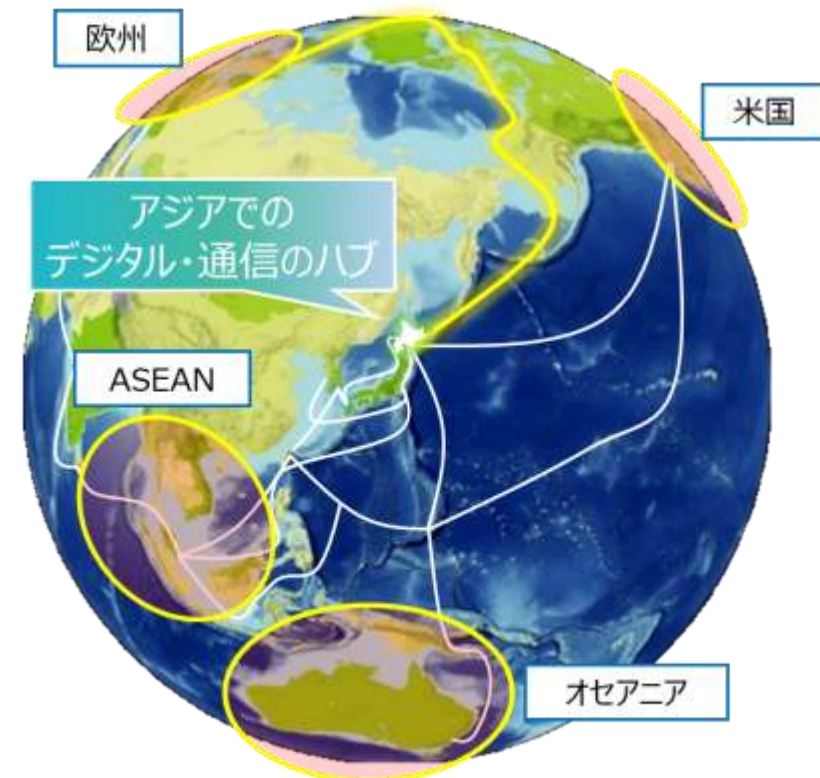
北海道データセンターパーク

- 再エネを活用したデータセンターの集積と併せ、これらを利用するデジタル関連企業やデジタル人材の誘致・集積の推進により、「インフラ」・「企業」・「人」が一体となったデジタル関連産業の一大拠点を創出

- 欧州や北米との地理的近接性を活かした海底通信ケーブルの陸揚げ、首都圏を經由した東南アジアやオセアニアとの海底通信ケーブルの接続により、アジアでのデジタル・通信ハブを目指す



- ✓ 国内のデジタルインフラの強化
- ✓ アジアのネットワークのレジリエンス強化
- ✓ 経済安全保障への貢献



第3章 2 デジタル関連産業に関する本道の現状

2-4 デジタル関連産業の集積に向けた推進方向③

- 本道全域をカバーするクラウドサービスや通信ネットワーク拠点の誘致に取り組むとともに、送電網の大規模な増強により、再エネを活用する産業の立地・分散を促進しています。

全道をカバーする高速通信網・送電網の増強

- 北海道全域をカバーする光ファイバーと無線通信を組み合わせた高速通信網により、デジタル技術を最大限活用でき、全道へメリットが波及
- 道内の送電網の大規模な増強により、再エネの更なる拡大や再エネを活用する産業の立地・分散を促進

光ファイバー幹線

通信キャリア、通信回線事業者、電力・鉄道・高速道路事業者などの光ファイバーの拡充・更新

新たな無線通信網

低軌道衛星、5G/6G、空飛ぶ基地局などの活用

